

# ドクター メモ

## 脊<sup>せき</sup>柱側わん症

## 首から背中の 骨の並びに注意を

正常な脊柱を、横から見ると、首、背中、腰でそれぞれ湾曲しています。正面から見ると、首から骨盤まで一直線に骨が並びます。この並びに曲がりが生じたものが、側わん症です。

側わん症には、生まれつきのもので、神経の病気で起こってくるものなどがあります。が、原因不明で、小学校高学年から中学にかけて発病する特発性側わん症が、もともと数も多く注意が必要です。女子は男子に比べて、数倍多く発症します。

側わん症そのものは、早期にはほとんど症状はありません。小学校や中学校の健診で背骨の軽い曲がりが見つかったり、レントゲン検査で診断される児童・生徒がほとんどです。

まれに、家族が、肩の高さの違いや背骨の曲がり気づいて、整形外科などを受診さ

れることもあります。お風呂やプールなど、背中全体を見る機会があれば、肩の高さ、骨盤の高さなどを見ると、側わん症の早期発見が可能なこともあります。

軽い側わん症は症状もなく、特に治療の必要はありませんが、骨の成長が続く間は、側わん症が進行する可能性があるため、数年間の観察が必要です。

進行性の側わん症には、装具治療などが必要なことがあります。将来に大きな障がいをもたらす病気ではありませんので、冷静に対応してください。

